



## 回覧

発生土活用提案市町村との打合わせについて

企画振興部リニア推進振興室

- 1 日時 平成26年7月11日(金) 10時30分～16時00分  
 2 場所 町村役場  
 3 出席者 JR 東海中央新幹線建設部 [redacted] 氏  
 リニア推進振興室 石田リニア推進幹、山崎担当係長

## 4 概要

## ○JR 東海

- ・活用先を提案していただき、感謝。
- ・工事実施計画認可前に、自治体と協議しながら概略の計画を作成したい。
- ・認可を受けた後に、地権者等関係者へ測量調査に立ち入るための説明を順次行いたい。

## ○松川町(10:30～12:00 深津町長、吉沢副村長、斉藤まちづくり政策課長)

(町長から)

- ・発生土活用に関しては基本的に JR 東海が対応するもので、町は協力する立場。
- ・生活環境への配慮や安全の確保、運搬路の対策が重要。確実に実施するために、協定の締結が不可欠。
- ・地元に対して最大限の配慮をされたい。

(町の考え)

- ・農道事業については事業化の予定がないので、事業化の目途がたってからの検討でよい。
- ・長峰地区と中山地区では、[redacted]地区が優先。
- ・[redacted]地区には、発生土の搬入にあわせて現在県が実施している松川大鹿線の改良を促進したいとの意向がある。そのため松川インター大鹿線と松川大鹿線の一方通行による利用を検討されたい。
- ・[redacted]地区は盛土後換地を行いたいので、協力して欲しい。
- ・[redacted]地区の場合、盛土量が中途半端では受け入れられない恐れがある。
- ・伊那生田飯田線沿線の福与地区には、工事用車両の通行に対する反対意見がある。過去に圃場整備で工事用車両が通行した際は、地元と事業者で協定を結んだ事例がある。

## ○豊丘村(13:00～12:00 昼神総務課長、森田リニア対策室長)

- ・伴野原地区について、新規に提案するので検討して欲しい。  
 ※受入量約 66 万 m<sup>3</sup>、保安林指定あり。
- ・村としては、村外の発生土を受け入れる考えはない。また当初提案の [redacted] 地区よりも、後利用が可能な [redacted] 地区を優先したい。
- ・[redacted] 地区は残った土量で検討して欲しい。所有者は後利用を考えておらず、埋立てを契機に進入路ができればよいぐらいの考えである。

③-5

14:00?



- ・ JR 東海が希望している[REDACTED]地区の候補地については、候補になっている旨を地区の代表に説明してある。
- ・ 林道虻川線や一般県道長沢田村線など、村が希望する運行経路と必要な改修箇所を今月中にまとめ、提示する。
- ・ 林道虻川線の途中にある野田平キャンプ場については、工事期間中休業せざるを得ないと考えている。そのため休業補償を検討して欲しい。また松茸シーズン(9月10日～11月15日)は、入山者へ配慮して欲しい。

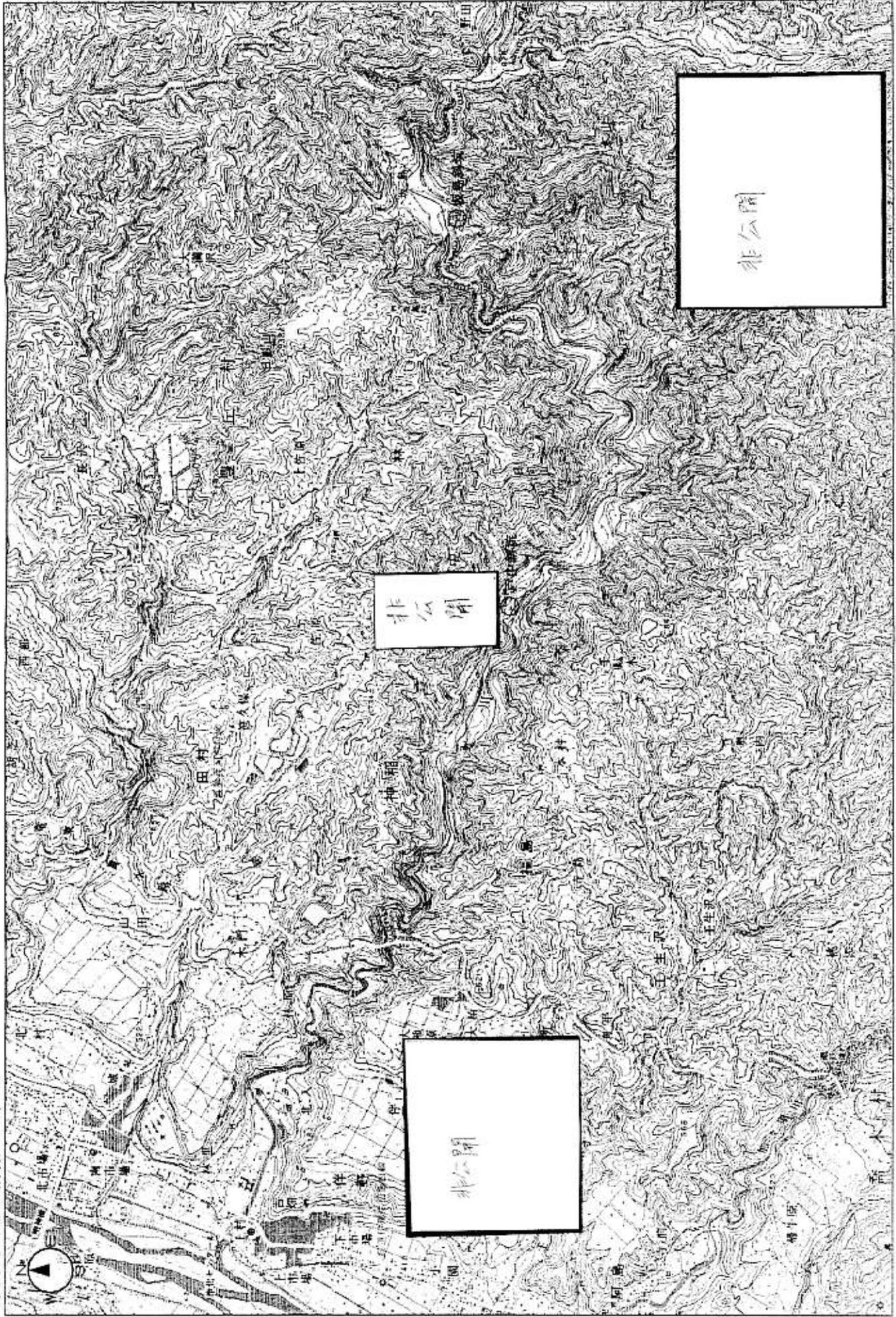
○下條村(15:00～16:00 宮島副村長、宮島振興課長、総務課宮澤主任)

- ・ 地権者からは同意を得ている、保安林等の指定もなく、搬入にあたっての条件も特にない。
- ・ 最近は見ないがギフチョウが生息していたので、調査が必要。
- ・ 埋立て後の換地手続きを、JR 東海にお願いしたい。

A3 → A4

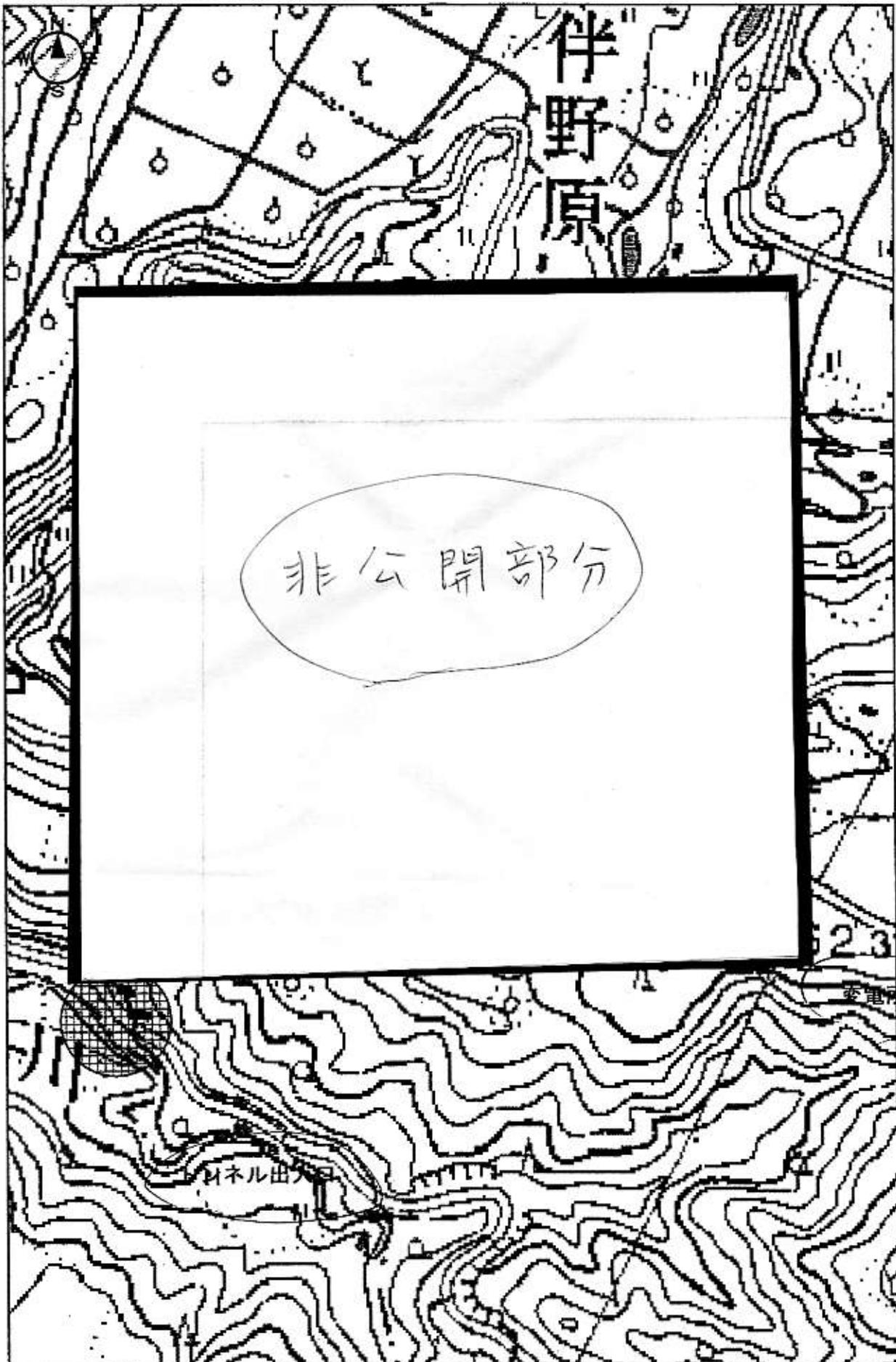
2014/07/09

市内向け地理情報システム



200  
1:20,000

庁内向け地理情報システム



0 200m  
1:5,000

市内向け地理情報システム



0 1km  
1:25,000

其2



川市地図 其2

A3 → A4

